

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 ( 新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持 )

**1 事務事業の基本情報** ☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。

事務事業名	土曜日補習教室事業費	補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	1	目	3	事業	7
担当部	教育委員会	担当課	指導課	担当係	係	作成者	間中 芳子	内線(電話番号)	8311	シート作成日	H.30.11.1	部長決裁日	H.30.11.15			
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : )		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : ) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 : ) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称 : 常総市小学校土曜日補習教室の設置に関する規則)													

**2 事務事業の目的** ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。

現状課題	平成26年度より開設し、平成27年度の継続実施、平成28年度から北海道地区、石下地区の各々に1校ずつ新設し、市内の4つの小学校で児童の自主学習の機会の提供のため実施している。児童は、原則として保護者送迎だが、実施校の参加児童は授業終了後に直接教室に参加できるため、実施校児童の登録が多いのが実状である。H30年度から児童数が増え、市南端の絹西小学校に新設することで、北海道小学校教室や豊岡小学校教室には通いにくい児童に対して、学習の機会を確保することが可能になる。	誰・何を対象に 土曜日と平日(火・水・木)の放課後に市内小学校4年生～6年生までの希望する児童対象に自主学習のサポートをする。	どのような方法・手順で 登録は随時受け付けているが、各小学校への周知や事業の趣旨説明を十分に行うために次年度の登録希望の募集時期を2月～3月上旬までとし、年度始めからの入室に向けての説明と事業内容の説明会を実施する。	望ましい状態 平成29年度までに、市内4校(北海道小学校・豊岡小学校・石下小学校・岡田小学校)に設置し、平成30年度は絹西小学校に新設。実施校の児童の登録が大多数であるため、他の小学校にも設置し、より多くの児童が日常的に通室できる機会が確保できる状態。
------	--	--	---	---

**3 事務事業の主たる成果指標** ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。

指標名	参加を希望する児童のうち、実際に参加した児童の割合	単位	%	目標値	100	目標年次	平成 31 年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	平日(火曜日・水曜日・木曜日)・土曜日の参加を希望する全ての児童に対し学習の機会を提供する。
-----	---------------------------	----	---	-----	-----	------	----------	-------------------------------------	--

**4 事務事業の実績 ①** ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。

年度	平成27年度			平成28年度			平成29年度								
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量							
事務事業を構成する主な業務	① 指導員の配置(2000円/時)	3219時間		① 指導員の配置(2000円/時)	4545時間		① 指導員の配置(2000円/時)	4887時間							
	② 消耗品費	4教室		② 学習消耗品	6教室		② 学習消耗品	6教室							
	③ 燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	2教室		③ 燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	4教室		③ 燃料費(ストーブ灯油代)(公共施設を除く)	4教室							
	④			④			④								
	⑤			⑤			⑤								
	⑥			⑥			⑥								
	⑦			⑦			⑦								
	⑧			⑧			⑧								
	⑨			⑨			⑨								
	⑩			⑩			⑩								
	⑪			⑪			⑪								
	⑫			⑫			⑫								
目標値に対する実績値			100 %	目標値に対する実績値			100 %	目標値に対する実績値			100 %				
決算額	計	6,284,906 円	内訳	特定財源	円	計	9,354,287 円	内訳	特定財源	円	計	9,927,400 円	内訳	特定財源	円
				一般財源	6,284,906 円		一般財源	9,354,287 円		一般財源	9,927,400 円		一般財源	9,927,400 円	
(住民一人あたりの行政コスト)			101.61858 円	(住民一人あたりの行政コスト)			153.82810 円	(住民一人あたりの行政コスト)			164.19510 円				

**5 担当者評価 ②** ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。

成果	ほぼ目標どおり	成果内容	児童・保護者・学校職員(校長・教頭・担任)から、児童の学習意欲の向上、学習態度の改善がみられるとの報告がある。送迎時に随時行われる指導員からの助言が保護者から好評であり、保護者の児童との関りや家庭教育力の一助となっている。
問題点			・実施教室の確保・・・新設の絹西小は空き教室がなく、図書室で実施。将来的には常設教室の確保も検討。 ・学習指導員の確保・・・児童の学習支援や学習指導体制と保護者対応の質を保持するため、経験豊富な指導員の確保。 ・予算の確保・・・学習指導員の増員に伴う賃金の予算確保消耗品の十分な供給。 ・「放課後子どもプラン」との連携・協力体制の確立・・・事業間の実施内容の共通理解と児童の引き渡し方法の周知徹底。

**6 担当部長及び担当課長評価 ③** ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

放課後の児童の自主的な学習の習慣化とそのための場の提供は、児童・保護者からの要望が多い。特に放課後直接通室できるよう各校への設置が望まれるところである。実際に、保護者・児童から「ほっとサタデー教室なら集中して学習に取り組める」ことや、指導員との信頼関係が基盤となって、児童が学習に向かうための協力体制の強化が短期的・長期的な教育効果をもたらす事業として、将来的には更なる拡充を念頭に置きつつ実施内容の充実を図るものとする。

**7 実施計画 ④** ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度						
事業内容	<b>●実施場所</b> 平日(火・水・木) 北海道小学校 豊岡小学校 絹西小学校(平成30年度新設) 石下小学校 岡田小学校 土曜日 北海道図書館 石下総合福祉センター	<b>●実施場所</b> 平日(火・水・木) 北海道小学校 豊岡小学校 絹西小学校 石下小学校 岡田小学校 土曜日 北海道図書館 石下総合福祉センター	<b>●実施場所</b> 平日(火・水・木) 北海道小学校 豊岡小学校 絹西小学校 石下小学校 岡田小学校 土曜日 北海道図書館 石下総合福祉センター						
	<b>●実施時間</b> 平日(火曜日・水曜日・木曜日)15:30～19:30 土曜日 9:00～13:00	<b>●実施時間</b> 平日(火曜日・水曜日・木曜日)15:30～19:30 土曜日 9:00～13:00	<b>●実施時間</b> 平日(火曜日・水曜日・木曜日)15:30～19:30 土曜日 9:00～13:00						
	<b>●指導員</b> 教職経験者 16名 (2000円/時)	<b>●指導員</b> 教職経験者 16名 (2000円/時)	<b>●指導員</b> 教職経験者 16名 (2000円/時)						
	<b>●実施内容</b> 児童の自主学習のサポートと保護者への教育相談 児童・保護者との信頼関係を構築することで、協力体制と児童の学習効果の向上を図る。 <b>●保護者負担金</b> 年間保険料 800円(放課後子どもプラン)	<b>●実施内容</b> 児童の自主学習のサポートと保護者への教育相談 児童・保護者との信頼関係を構築することで、協力体制と児童の学習効果の向上を図る。 <b>●保護者負担金</b> 年間保険料 800円(放課後子どもプラン)	<b>●実施内容</b> 児童の自主学習のサポートと保護者への教育相談 児童・保護者との信頼関係を構築することで、協力体制と児童の学習効果の向上を図る。 <b>●保護者負担金</b> 年間保険料 800円(放課後子どもプラン)						
予算額	歳出	計	12,960 千円	歳出	計	12,960 千円	歳出	計	12,960 千円
		特定財源	0 千円		特定財源	0 千円		特定財源	0 千円
	歳入	一般財源	12,960 千円	歳入	一般財源	12,960 千円	歳入	一般財源	12,960 千円
		計	12,960 千円		計	12,960 千円		計	12,960 千円

**8 財務アドバイザーの見解**

『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いと判断された平成29年度の一般財源決算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。

**9 行政改革懇談会(市民)の意見**

担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、減免措置を考慮したうえでの適正な受益者負担も検討するべきである。当該事業は常総市の未来のためにも重要な事業である。現時点では現行どおりでよいと考えるが、適正な受益者負担を検討したうえで、将来的には拡充も必要であろう。

**10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤**

事務事業の方向性

拡充  現行どおり  縮小  休止・廃止

評価理由

児童、保護者から要望の声が高い事業であり、将来を担う子供たちに自主的な学びを提供する場として定着している。参加促進を図りながら継続すべき事業である。

**11 事務事業の改善理由 ⑥** ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。

事業内容

会場を増設したことにより、参加児童数は増加している。今後は広報、周知活動を活性化することで参加児童数の増加を図りたい。